

国際委員会国際対応戦略立案分科会

(第25期・第3回)議事要旨

1. 日 時：令和3年6月15日（火）9:00~10:30
2. 場 所：オンライン
3. 出席者：高村委員長、武田副委員長、鈴木幹事、中村幹事、古谷委員、浅見委員、川島委員、古城委員、高濱委員、萩原委員
(事務局)：市川国際業務担当参事官、国際業務担当室員

4. 議 事

(1) 第2回議事要旨の確認

異議なく了承された。

(2) 行政改革推進会議からの通告へのフォローアップについて

行政改革推進会議（令和2年12月9日に公表）からの通告を受け、そのフォローアップに関する審議を行った。

①国際学術団体の活動調査票及び加入申請書について委員による意見交換を行った結果、各国際学術団体に対応する分野の学術の進歩に貢献しているかどうかについて、より十分な把握や精査を行うため、既存の活動調査票を改正することが了承された。今後、新たな活動調査票で加入国際学術団体の見直し審査を行うことについて国際委員会、幹事会に諮ることとなった。

また、日本学術会議が加盟する各国際学術団体の国内対応分科会委員長に対し、本分科会より事務連絡を送り、行政改革推進会議からの指摘事項を周知するとともに、各国際学術団体の概要紙等も提出を求めることで一致した。

次に、②今後の広報対応について、事務局の説明の後、委員による意見交換を行った。各国際学術団体の活動概要や成果に関する国内及び海外への日本学術会議ホームページを通じた発信強化に向けて、今後、各国内対応分科会委員長との意見交換の機会を設けるほか、広報のあり方について、本分科会委員の意見を取りまとめ、広報委員会に対して要望事項として提出することで一致した。

最後に、③外部評価の導入について、事務局から説明を行い、次回以降の分科会に外部有識者に出席いただくことで了承を得た。

(3) 日本学術会議のよりよい役割発揮に向けた検討について（中間報告）

事務局から日本学術会議における国際活動や情報発信力の強化等に関する検討状況を説明した。

以上